

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 荒川化学工業株式会社
 コード番号 4968 URL <http://www.arakawachem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷奥 勝三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統轄部長 (氏名) 宮下 泰知
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・証券アナリスト向け

TEL 06-6209-8500
 平成26年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	39,593	11.5	1,543	36.0	1,649	15.8	1,195	37.9
26年3月期第2四半期	35,508	6.6	1,135	46.9	1,424	106.3	867	623.3

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 1,150百万円 (△56.2%) 26年3月期第2四半期 2,624百万円 (961.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	59.23	59.18
26年3月期第2四半期	43.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	81,037		44,630			53.3
26年3月期	82,342		43,634			51.5

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 43,224百万円 26年3月期 42,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	12.00	—	13.00	25.00
27年3月期	—	13.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	13.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	81,000	8.0	3,100	32.8	3,300	22.4	1,900	27.7	93.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」
をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	20,280,700 株	26年3月期	20,150,400 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	12,221 株	26年3月期	12,034 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	20,186,873 株	26年3月期2Q	20,138,476 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、米国を中心とする先進国では緩やかな景気回復が続いたものの、中国をはじめとする新興国の景気減速により、弱い成長に留まりました。一方、国内経済は、消費税増税後の内需落ち込みからの持ち直しテンポが鈍く、また、原材料価格およびエネルギーコストの高止まりが、製造業・素材業種の収益を圧迫しております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、第3次中期経営計画の方針に沿った重点施策を進め、中国などのアジア地域ならびに欧州における事業拡大や、事業開発の促進に注力してまいりました。しかしながら、いまだにロジンをはじめとする原材料価格の上昇が収益圧迫の要因となっており、製品価格の改定や、経費削減に努めております。そのような状況下、海外での収益拡大により、売上、利益ともに前年同期を上回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は395億93百万円（前年同期比11.5%増）、営業利益は15億43百万円（同36.0%増）、経常利益は16億49百万円（同15.8%増）、四半期純利益は11億95百万円（同37.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメント区分の売上高はセグメント間の内部売上高を含んでおりません。

<製紙薬品事業>

国内製紙業界は、段ボール原紙など板紙の生産が堅調に推移しました。一方、印刷・情報用紙は、消費税増税後の反動減からの回復の遅れもあり、需要が低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内販売は堅調に推移しました。利益面では、国内での原材料価格上昇による収益圧迫もありましたが、中国を中心としたアジア地域における拡販が寄与し、増益となりました。

その結果、売上高は100億97百万円（前年同期比4.6%増）、セグメント利益は5億60百万円（同7.4%増）となりました。

<化成品事業>

国内の印刷インキや粘着・接着剤業界は、電子媒体の普及で需要が縮小傾向にあることから出版分野で低迷が続きましたが、包装分野は堅調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、国内の印刷インキ用樹脂は低調に推移しましたが、粘着・接着剤用樹脂が欧州地域で伸張し、売上高は234億95百万円（前年同期比20.1%増）となりました。セグメント利益は、原材料価格上昇により収益性が悪化しておりますが、欧州地域での拡販、機能性ファインケミカル製品の寄与等により、8億18百万円（同41.0%増）となりました。

<電子材料事業>

電子工業業界は、スマートフォンや車載向けが需要を牽引し、中でも中国メーカーが攻勢を強める低価格スマートフォンの需要は好調に推移しました。このような環境のもと、当事業におきましては、高機能スマートフォン関連用途向け光硬化型樹脂や電子材料用配合製品が振るわず、売上高は58億50百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント損失は79百万円（前年同期はセグメント利益20百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億5百万円減少し、810億37百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が10億2百万円、投資有価証券が5億36百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1億97百万円、たな卸資産が10億15百万円、有形固定資産が7億62百万円減少したことによります。

負債は、支払手形及び買掛金が10億85百万円、短期借入金が10億84百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ23億1百万円減少し、364億6百万円となりました。

純資産は、利益剰余金等が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ9億96百万円増加し、446億30百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10億2百万円増加し、75億78百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、28億59百万円の増加となりました。これは、税金等調整前四半期純利益（20億99百万円）、減価償却費（12億80百万円）およびたな卸資産の減少（7億3百万円）などにより資金が増加した一方、売上債権の増加（2億40百万円）、仕入債務の減少（8億55百万円）などにより資金が減少した結果であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、8億61百万円の減少となりました。これは、固定資産の取得による支出（8億92百万円）が主なものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、8億70百万円の減少となりました。これは、借入金の純減少（7億16百万円）および配当金の支払（2億61百万円）が主なものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しは、国内外の景気減速懸念が高まるなど、予断を許さない状況であります。

通期の連結業績予想につきましては、中国における粘着・接着剤用樹脂の需要減少などにより、売上高は平成26年5月7日に公表しました前回予想を修正いたします。利益面におきましては、営業利益、経常利益の修正はありませんが、中国の連結子会社の事業移管にともなう特別利益の発生もあり、当期純利益は前回予想を修正いたします。引き続き、徹底したコスト削減や高付加価値製品の拡販などによる利益確保に努めてまいります。

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	84,000	3,100	3,300	1,800	89.38
今回修正予想 (B)	81,000	3,100	3,300	1,900	93.95
増減額 (B-A)	△3,000	0	0	100	—
増減率 (%)	△3.6	0.0	0.0	5.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	75,025	2,335	2,697	1,487	73.86

※ 当第2四半期累計期間におけるストック・オプションの権利行使により、発行済株式総数が130,300株増加しております。1株当たりの予想当期純利益の算出につきましては、当該増加分を含めて計算した予想期中平均株式数に基づき算出しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）として繰り延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を、期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

この変更による連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,668	7,670
受取手形及び売掛金	28,167	27,969
商品及び製品	8,530	8,009
仕掛品	1,069	1,048
原材料及び貯蔵品	7,878	7,405
繰延税金資産	579	542
その他	1,670	951
貸倒引当金	△157	△156
流動資産合計	54,406	53,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,933	7,652
機械装置及び運搬具（純額）	7,828	7,244
土地	4,724	4,781
建設仮勘定	266	336
その他（純額）	318	294
有形固定資産合計	21,072	20,309
無形固定資産		
のれん	134	98
その他	540	485
無形固定資産合計	674	583
投資その他の資産		
投資有価証券	5,480	6,017
繰延税金資産	193	178
その他	523	518
貸倒引当金	△8	△11
投資その他の資産合計	6,189	6,702
固定資産合計	27,936	27,596
資産合計	82,342	81,037

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,867	11,781
短期借入金	11,525	10,441
未払法人税等	272	331
未払消費税等	36	124
賞与引当金	989	943
役員賞与引当金	40	21
修繕引当金	-	85
設備関係支払手形	212	46
その他	3,103	2,922
流動負債合計	29,047	26,698
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	2,079	2,171
繰延税金負債	968	1,146
修繕引当金	37	-
退職給付に係る負債	1,015	858
資産除去債務	88	89
その他	470	443
固定負債合計	9,660	9,708
負債合計	38,708	36,406
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,128	3,184
資本剰余金	3,350	3,405
利益剰余金	32,599	33,533
自己株式	△11	△11
株主資本合計	39,066	40,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,370	1,721
為替換算調整勘定	1,714	1,147
退職給付に係る調整累計額	256	244
その他の包括利益累計額合計	3,342	3,113
新株予約権	27	23
少数株主持分	1,199	1,382
純資産合計	43,634	44,630
負債純資産合計	82,342	81,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	35,508	39,593
売上原価	28,672	32,238
売上総利益	6,836	7,355
販売費及び一般管理費	5,700	5,812
営業利益	1,135	1,543
営業外収益		
受取利息	4	11
受取配当金	62	64
不動産賃貸料	58	60
為替差益	197	6
その他	126	130
営業外収益合計	449	273
営業外費用		
支払利息	127	129
持分法による投資損失	6	17
その他	27	20
営業外費用合計	160	167
経常利益	1,424	1,649
特別利益		
固定資産売却益	1	20
受取補償金	-	※ 440
特別利益合計	1	461
特別損失		
固定資産除売却損	6	11
特別損失合計	6	11
税金等調整前四半期純利益	1,419	2,099
法人税、住民税及び事業税	243	535
法人税等調整額	228	132
法人税等合計	472	667
少数株主損益調整前四半期純利益	946	1,432
少数株主利益	79	236
四半期純利益	867	1,195

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	946	1,432
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	390	350
為替換算調整勘定	1,277	△612
退職給付に係る調整額	-	△12
持分法適用会社に対する持分相当額	9	△7
その他の包括利益合計	1,677	△281
四半期包括利益	2,624	1,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,384	967
少数株主に係る四半期包括利益	239	183

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,419	2,099
減価償却費	1,423	1,280
のれん償却額	28	30
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	49	△43
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△19
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△165	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	-	△155
固定資産除売却損益 (△は益)	5	△9
受取利息及び受取配当金	△66	△75
支払利息	127	129
持分法による投資損益 (△は益)	6	17
売上債権の増減額 (△は増加)	2,847	△240
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,155	703
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,746	△855
その他	△1,200	497
小計	3,874	3,363
利息及び配当金の受取額	65	72
利息の支払額	△119	△149
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△332	△427
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,487	2,859
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,071	△873
有形固定資産の売却による収入	78	42
投資有価証券の取得による支出	△12	△12
無形固定資産の取得による支出	△1	△19
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△16	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,023	△861
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,104	△477
長期借入れによる収入	-	494
長期借入金の返済による支出	△401	△734
新株予約権の発行による収入	27	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	107
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△231	△261
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,710	△870
現金及び現金同等物に係る換算差額	327	△124
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,081	1,002
現金及び現金同等物の期首残高	6,901	6,576
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,983	7,578

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 受取補償金の内容

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

連結子会社である厦門荒川化学工業有限公司において、都市計画の変更にもなう事業拠点の移転要請により、補償金を受領しております。受領金額より移管費用や固定資産除却損等を控除した金額を特別利益として計上しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,649	19,567	6,145	35,362	145	35,508
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	48	—	48	23	71
計	9,649	19,615	6,145	35,410	169	35,580
セグメント利益	521	580	20	1,122	4	1,126

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,122
「その他」の区分の利益	4
全社費用の配賦差額(注) 1	120
営業外損益(注) 2	△111
四半期連結損益計算書の営業利益	1,135

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	製紙薬品	化成品	電子材料	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,097	23,495	5,850	39,443	150	39,593
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	55	—	55	12	68
計	10,097	23,550	5,850	39,498	162	39,661
セグメント利益又は損失(△)	560	818	△79	1,299	9	1,309

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険、不動産仲介等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,299
「その他」の区分の利益	9
全社費用の配賦差額(注)1	362
営業外損益(注)2	△128
四半期連結損益計算書の営業利益	1,543

(注) 1 全社費用の配賦差額は、主に報告セグメントに予定配賦した一般管理費の差額であります。

2 営業外損益は、主に報告セグメントに計上されている営業外損益項目であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。